

高畠町立小学校教育環境等検討委員会

第 7 回会議録

日 時：令和 7 年 9 月 3 日（火）午後 6 時 3 5 分～午後 8 時

場 所：高畠町役場 大会議室

出席者：検討委員会委員 1 0 名（5 名欠席）、事務局 4 名

◇開会

◇委員長あいさつ

こんばんは。これまで熱心にご協議いただきまして、本日事務局からまとめが出てくると思いますので、皆さんから趣旨が明確になるように言葉を足していただきたいと思います。委員会として議論ができるのは今回が実質最後になりますので、今日出された意見は整理して、次回に最終的な一つのまとめになるのではないかと思います。それでは本日もどうぞよろしくお願いいたします。

◇協議

事務局 それでは早速協議に入ります。座長を委員長にお願いいたします。

委員長 それでは（１）これまでの検討のまとめについて、事務局より説明をお願いします。

事務局 資料により説明する

委員長 少し時間を取りますのでお読み取りいただきまして、言葉としては書かれているとは思いますがもう少し意味を厚くしたり足したりしたいところがありましたら、ご発言をお願いしたいと思います。お一人ずつご発言の準備をするつもりで内容をお読み取りいただきたいと思います。

———— 各自で資料を読み取る ————

委員長 まだ途中かもしれませんが、一旦そこまでにしてください。一通りご発言いただいてそのあとで、なおということがあればご発言を加えていただきたいと思います。

委 員 「子どもの視点」とありますが、読んでみると大人の視点なのではないかと感じました。委員の方が考えた視点だとしたらそれは大人の視点なのではないかと思います。

委 員 読んでみてやはり地区を超えてないように感じます。地区を超えた活動をたくさんしてもらえた方が、関わり方が増えるのかなと思います。新たに 1 校になったとしても地区を超えた活動をしなければ何も広がらないかなと。コミュニケーション能力を高くするといっても、同じ地区内でいれば成長しないのかな。それが全ての面で思う感じがしました。地区を超えて、ブドウの農業体験など色々な活動が出来た方がいいのかなと感じました。

委 員 今まで話してきたことが反映されているなど拝見しました。「他者とのかわり、コミュニケーション能力」のところで、子どもの数が増えた場合も取り入れてもらってもいいのか

なと思いました。「主体性」のところで「興味を持って動いてしまうような環境づくりが望まれます」の方がいいのではないかと思います。

委員 ①の身に付けてほしい資質・能力のところで、「こういうことをすればこういう能力が身に付くのではないか」ということが全ての項目に書いてあるべきではないかと思います。「思いやり」はどういう環境で形成されるのか、とか「たくさんの人が関わることで育まれるのではないか」というところまで落とし込むのか、まとめ方に統一性が欲しいなと感じました。あと「誰かに依存する強さ」という表現に違和感がありますので、「頼る」という表現の方が相応しいかなと思います。②の配慮が望まれることについては、「先生の視点」で、「手が掛かる」の意味がはっきりしないことと、継承していかなければならない高畠の良さというのは大人の視点や地域の視点からはあると思いますが、その場合は記載が必要なのかどうか、と思いました。

委員 言葉がオブラートというかの的が絞られていないように感じました。「立ち直る力」の中にも「認める力」などポイントとなる言葉があった方がいいと思います。何が「失敗を恐れず」なのか、「自分が出来ないことを考えていく力」とか近い言葉があるといいのかなと思いました。

委員 「子どもの視点」の「統合によって学力が下がらないように」について、何で学力が下がるのか詳しく説明があった方がいいと思いますし、「行事は大人数で出来たらいい」についても、具体的にどんなものがどんな風に出来るのか説明があった方がいいと思いました。

委員 ①身に付けてほしい資質・能力について、こども園で大事にしていることと重複しています。小学校でもぜひ継続して大事にしてほしいと思ったところは、主体性とコミュニケーション能力、立ち直る力です。主体性を育むために園では夢中になって遊びこむ環境づくりを大切にしています。子どもたちの気づきや発見を大切にしています。生活と遊びの中でコミュニケーション能力や立ち直る力も大事にしています。

委員 資料2はうまくまとめられているなと思いました。(1) 検討のまとめでは「立ち直る力」の「依存する強さ」という言葉が引っかかりました。「助けを求める強さ」などに変えてはどうかと思いました。先に出ましたが「子どもの視点」とありますが保護者や大人からの心配な点になっているので、「子どもの視点」という書き方はどうなのか、また「先生の視点」については1つしか記載がありません。大規模校も小規模校もそれぞれに良さと課題があるので、これだけだと少人数の学校の方が先生が手をかけることが出来ていいんだよとなってしまうかと感じます。そもそも「先生の視点」を載せるかどうか根本的に考え直した方がいいと思いました。

委員 (1) ①の「郷土愛」のところですが、高畠らしさを考えた時に浜田広介先生の心があり、「郷土愛」の中に高畠らしさを含まれたらいいなと思います。あと、「避けて通れません」とか「成り立ちません」という否定的な言葉より肯定的な言葉に変えた方がいいと思います。「保護者の視点」で、保護者同士の連携を考えた時に中学校の3年間はあつとい

う間で、それが小学校から積み上がってくることによってより良い横の連携が出てくるのかなと思います。中学校になってもプラスになるという視点も盛り込むことができたかどうかと思いました。あと「行事は大人数で」について、大人数だからこそできる良さを含められるといいのではないかなというところです。

委員長 一通りご意見を出していただきましたので一つずつ見ていきたいと思います。主体性のところですが、「思わず動いてしまう」は「興味を持って」とか「ワクワクして」に変えた方がいいかもしれません。他者との関わりのところでは、ポジティブな表現の方が良いというのはご指摘の通りだと思います。意見に相違があることで視野が広がるので、違う意見を大事にしたいというところと、基本的にコミュニケーションは1対1なので、子どもの数が増えればいろんな子どもと話ができるという良さはあるのかなと思います。立ち直る力のところで、「依存する強さ」は「一人で頑張らない」や「助けてほしいと言えることが大切」という意味合いの表現に変えましょう。郷土愛のところでは、高畠の誇りを持ってほしいことや大事にしてほしいことを出していく。思いやりについてはどういう環境が大事か記載した方が読み手には伝わりやすいかなと思います。「個人の幸福度を高める」について、自分と他者の幸せという広がりが必要だと思います。②についてですが、ご指摘があったように「視点」という言葉がかみ合っていないので、「子どもの育ちについて」とか「大人と保護者の関わり」「地域との関わり」に直した方がいいでしょう。「先生の視点」はご指摘のように「手が掛かる」という表現が色んなニュアンスを含むので難しいところです。全体を通して、学校だけでなく地域も一緒に地区を超えたつながりや関わり合いを深めたいというニュアンスを書いてはどうかというご意見がありました。そうすると最後の「時間的な見通し」として地区を超えたつながり、関わり合いを考えていくとすると時間を掛けていくことが大事なのかなと思います。お話を伺って思ったことは以上ですが、郷土愛のところでもう少し書き加えることがありますか。

委員 自分が住んでいる場所という「郷土」もあるが、自分たちが高畠町を作っていくという意味で「郷土」と捉えて書いてもらおうと大切に思う気持ちは汲んでもらえるのではないかなと思います。

委員 郷土愛となると自分の住んでいる所と捉えると思うので、「高畠町」とは捉えないのではないかな。

委員 「郷土」は自分が住んでいる地域もそうだし、町全体でもあるし両方あっていいし、こだわらなくていいのではないかなと思います。

委員長 地区を超えたプロジェクトを作り出して、一緒に取り組みながらはじめて人とのつながりが見えてきます。そうしたプロジェクトを進めながら、コミュニケーションが取れるようにならないと、地区を超えた理解は難しいかもしれません。

委員長 「先生の視点」はどうしましょうか。先生方は小規模でも大規模でも頑張るでしょうし、記載しなくてもいいのかなと思いますが。

委 員 なくてもいいのではないのでしょうか。

委員長 「子どもの視点」の2つ目については、「現状の良さ」を具体的に書いて、「統合によって学力が下がらないようにしてほしい」と、「行事は大人数で取り組めたらいい」を分けて書くことにしましょう。

委員長 では次に（2）提言案について事務局から説明をお願いします。

事務局 資料により説明する。

委員長 提言案というのは、これからの高畠町の小学校教育環境についての提言ということで、付託されたテーマの議論のまとめになります。先ほど議論があったので「郷土愛」は別の書き方がいいと思いますし、少し時間を取りますのでお読み取りいただいてご発言をお願いしたいと思います。

——— 各自で読み取る ———

委員長 それではご意見があればいただきたいと思います。

委 員 「小規模校の良さをどのように生かすか」より「小規模校のような良いところをどのように取り入れていくか」の方がしっくりくると思います。また、先ほどの②の再編統合のところの「地域の視点」のところで「統合でもいいのではないか」が軽い表現に聞こえるので、別の言い方に変えていただきたいなと思います。

委員長 「考える余地がある」とか「検討も必要かもしれない」というニュアンスですね。

委 員 「特に求められる資質・能力」は「身に付けて欲しい」とか「育んでほしい」とか「大切にしてほしい」の方が相応しいと思います。あと「楽しみを見つけられる」は先ほどあったように「気づく」とか「感じられる」の方が合っているかなと思いました。

委員長 私から、「大人がどれだけ関わっていけるか」のところで、大人が、どれだけ学校に自分事として関わっていけるかに結びついてくるというか、学校と先生におまかせではなくて、大人の関わりが不可分であるということを整理するといいと思います。

委 員 「地域の公民館の利用」は、その前の「地域の方により体験学習や職場体験、地域の公民館の利用などを通して」にすると分かりやすいのではないかと思います。

委 員 最後の「めざしてまいりましょう」ですが、「めざすことが大切だと考えます」にした方がいいと思います。3行前の「考えます」は「捉えます」などに変えてみてはどうかと思います。

委員長 みなさんありがとうございました。ご指摘いただいたところを事務局で練り直して整理してこういう方向で進めていくということでよろしいでしょうか。

委員長 それでは協議の（3）について、この検討委員会のまとめが出た後どうなっていくのかも含めて事務局からお話しいただければと思います。

事務局 次回開催、内容、検討委員会が役目を終えた後の見通しを説明する。

委員長 次回は9月29日になりますが、今日の議論を事務局で整理して「案」を示し、皆さんか

らご承認いただければ教育長へ手交してこの検討委員会は役割を終えるということになります。何か皆さんからご質問などありますか。

(発言なし)

委員長 では、協議は以上になります。ありがとうございました。

◇その他

事務局 委員長ありがとうございました。

ここで、第6回検討委員会の会議録について何かございましたらご指摘いただきたいと思います。

(発言なし)

◇閉会

事務局 それでは以上を持ちまして第7回検討委員会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。